



日本共産党・前都議会議員 東京民報おりにみ版

そねはじめレポート

2012年8月29日発行 第 53 号

そねはじめ事務所

114-0032

北区中十条2-11-6

Tel: 3907-1135

Fax: 3906-3225

尖閣買い取る金があるなら熱中症・孤独死対策を

都議団が要求

都内で数十人の熱中症死亡者が！

例年を上回る厳しい猛暑が続き、熱中症で亡くなる低所得・生活保護の高齢者が相次いでいます。

国は昨年、低収入者向けのクーラー設置支援を始めましたが、生活保護だけでくらす人には適用されません。

共産党都議団の要望で、都は「クーラー設置費助成」を4万円の不十分な額で実施しましたが、昨年の単年度事業で終了してしまいました。

《昨年以上回る暑さの今年も必要》

共産党都議団は8月3日に、クーラー補助の再開を申し入れましたが、まだ実現していません。



北区でも厳しい残暑の中で、医師から「じん不全で通院している70代の生活保護の男性患者が、暑さで脱水傾向にあり心配」との連絡が区議団にありました。区に相談しましたが「今年は、生活保護費からクーラー代は出ない」と冷たい対応です。

《孤独死を野放ししてよいのか》

いま中古のクーラーを分割払いでつけられないかと土建組合の方に相談していますが、命にかかわり、孤独死になりかねない問題だけに、行政のあまりに理不尽な対応に、強い憤りを感じます。

せめて昨年並みの金額でも助成が復活すれば、多くの生活保護世帯が助かるはずですが。

《尖閣予算で数万台のクーラー可能》

石原知事は、尖閣諸島の買い取りに躍起になっていますが、全国から寄せられた募金を除いても、買い取りにかかる都民の税金で、数万世帯の生活保護世帯にクーラー補助ができるのです。

9月16(日)~17日の、第13次東北ボランティアにご参加を

北区の共産党と後援会は、これまで12回の東北被災地支援ボランティアを取り組みましたが、次回のボランティア派遣は9月16日から17日の二日間となります。

引き続き、仮設住宅への訪問と物資配布、被災地見学が主な活動です。(第12次隊は女川原発まで出かけてきました)

9月初旬までは参加申込みを受け付けますのでよろしくお願います。なお支援物資の提供は、お米・新品の下着類、毛布タオルなどに限らせていただきます。

◆連絡・問い合わせはそねはじめ事務所(3907-1135)

写真は、昨年夏のボランティア活動で挨拶するそねはじめ前都議と北区議団。左は三浦敏夫市議(現宮城県議)。



社会保険・厚生年金病院にさらなる売却の動き 川崎社保病院に続き、宮城厚生年金病院も！

8月27日に厚生労働省が、共産党の田村智子参院議員に対し、昨年新たな「地域医療機能推進機構」の設置が決まって公的存続の道が開かれた社会保険・厚生年金病院について、2年後に新医療機構が発足する前に、売却を進める取り組みを報告に来ました。

■大学などへの譲渡を優先的に

新たな措置の1つは、当該病院がある都道府県内の医療関係の大学が要望した時、優先して譲渡するとの規定です。

すでに具体的に、宮城厚生年金病院を東北薬科大学に譲渡する話が進んでいるとのこと。

昨年の法改正時に、民主が民営化にこだわる自民・公明やみんなの党に妥協して売却組織（RFO）を3年も延命させたことが原因です。

二つ目に、社会保険病院などの運営を委託している地域医療振興協会が、譲渡を希望した時も優先的に随契で行うとされ、この対象となりうるのは、北社保病院だけです。

田村議員は、当面、医療や職員雇用の水準に悪影響が絶対ないように強く求めました。

公的病院だからこそ保険外の差額ベッド料等の勝手な値上げを抑えられることから、完全民営化には警戒が必要です。

（写真は、北社会保険病院と懇談する笠井衆院議員、田村参院議員とそねはじめ前都議、区議団）



そねはじめ切り絵の世界「NO. 1」 新たな門出を爽やかに彩って

つい最近結婚式を挙げた若いカップルに頼まれて、二人のお気に入りのツーショットの写真をもとに、切り絵を切りました。新婚のお祝いに二人の姿を切り絵にして送るのは、実は3組目です。

最初は、のちに鳩ヶ谷市議になった野崎浩伸・裕子夫妻で、披露宴での裕子さんの高島田と、新郎の紋付姿がいかにも初々しく、和装に合う切り絵で二人の姿を描いて贈るアイデアを思いついたのです。

お二人には大変喜ばれましたが、肝心のコピーを取るのを忘れ、手元には何も残っていません。

次は、当時新進の児童文学作家だった、最上一平さんとばんひろこさん夫妻の、ジーンズ姿の切り絵を描きました。

ところが10年後に自宅を訪ねて教えてやるまで最上氏はそれが切り絵だと気づきませんでした。

今回、愛犬を抱いた二人は、ハンチング帽やジーンズの似合うさわやかなイメージで、非常に切り絵に向いていたおかげで苦勞せずに描けました。私が贈ったモノクロの絵を上手に色づけたのは新郎で、先日「祝う会」であった時も派手な服も見事に着こなし、ギターを弾き歌う才能豊かなマルチ人間だと感じました。波乱の中にも輝き多い人生に期待しています。

